



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年7月29日

上場会社名 株式会社ジーダット 上場取引所 JQ
 コード番号 3841 URL <http://www.jedat.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石橋眞一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 増山雅美 TEL (03) 5847 - 0312
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月11日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	411	20.2	61	-	65	611.7	39	723.5
22年3月期第1四半期	342	53.3	19	-	9	97.0	4	97.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	2,058 60	-
22年3月期第1四半期	249 98	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	2,871	2,455	85.5	127,882 40
22年3月期	2,683	2,434	90.7	126,812 96

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 2,455百万円 22年3月期 2,434百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	-	0 00	-	1,000 00	1,000 00
23年3月期	-				
23年3月期(予想)		0 00	-	1,000 00	1,000 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	750	7.9	6	-	13	89.5	7	-	408 53
通期	1,600	5.8	50	-	61	2.1	35	43.0	1,852 38

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】4ページ「2.その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 - 社 ()、除外 - 社 ()

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更に伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 : 有

以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	19,500株	22年3月期	19,500株
----------	---------	--------	---------

期末自己株式数

23年3月期1Q	300株	22年3月期	300株
----------	------	--------	------

期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期1Q	19,200株	22年3月期1Q	19,200株
----------	---------	----------	---------

(注意事項)

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における半導体関連ならびに液晶関連の当社顧客市場は、新興国市場の伸張により回復基調にあります。他方で、欧州の財政危機や米国の住宅需要の低迷継続による懸念から、設備投資に慎重な姿勢を崩しておらず、特に当社企業グループが扱うEDA製品のような設計設備への投資は抑制されたままの状態が続いております。

こうした中で、当第1四半期連結累計期間の売上高は、受注の前倒し等により、前年同四半期と比較して68百万円(20.2%)増加し4億11百万円となりました。また同じく営業利益は80百万円増加して61百万円(前年同四半期は営業損失19百万円)となり、経常利益は56百万円(611.7%)増加して65百万円、四半期純利益は34百万円(723.5%)増加して39百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産、負債、純資産の概況

総資産は、前連結会計年度末と比較して1億87百万円(7.0%)増加し28億71百万円となりました。内訳として、流動資産は1億91百万円(9.2%)増加し22億61百万円、固定資産は3百万円(0.6%)減少し6億9百万円となりました。流動資産が増加した主な要因は、現金及び預金が2億8百万円(12.4%)増加し18億89百万円となり、受取手形及び売掛金が5百万円(1.9%)増加し2億97百万円となった一方で、繰延税金資産が19百万円(58.6%)減少し13百万円となったことによるものであります。固定資産が減少した主な要因は、無形固定資産が2百万円(7.9%)減少し28百万円となり、投資その他の資産が1百万円(0.2%)減少し5億46百万円となったことによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して1億67百万円(67.2%)増加し4億16百万円となりました。流動負債が増加した主な要因は、前受金が1億68百万円(174.5%)増加し2億64百万円となった一方で、買掛金が5百万円(11.6%)減少し43百万円、賞与引当金が28百万円(52.0%)減少し26百万円となったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して20百万円(0.8%)増加し24億55百万円となりました。純資産が増加した主な要因は、四半期純利益39百万円と、剰余金の配当19百万円によるものであります。なお、自己資本比率は前連結会計年度末の90.7%から85.5%となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの概況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ7億8百万円増加し、16億89百万円となりました。当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、以下の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期比で73百万円(47.3%)増加し2億28百万円となりました。主な要因は、前受金の増加が1億68百万円、税金等調整前四半期純利益が65百万円、賞与引当金の減少が28百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果回収した資金は4億99百万円(前年同四半期は1百万円の支出)となりました。主な要因は定期預金の払戻による収入が5億円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期比で19百万円(50.0%)減少し19百万円となりました。これは配当金の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年5月13日に公表しました平成23年3月期の連結業績予想からの変更はありません。

当連結会計年度の業績予想は、連結売上高16億円、営業利益50百万円、経常利益61百万円、当期純利益35百万円を見込んでおります。

なお当資料に記載の業績見通しについては、現在入手している情報に基づいた見通しであり、当社企業グループの事業領域をとりまく経済情勢、市場の動向等により、実際の業績がこれら業績見通しと大きく異なる場合がありますことをご承知おき願います。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(会計処理基準に関する事項の変更)

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ208千円減少し、税金等調整前四半期純利益が763千円減少しております。

(表示方法等の変更)

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年 6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年 3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,889,791	1,681,161
受取手形及び売掛金	297,296	291,776
たな卸資産	7,885	7,832
繰延税金資産	13,871	33,481
その他	56,190	59,395
貸倒引当金	3,400	3,400
流動資産合計	2,261,635	2,070,247
固定資産		
有形固定資産	35,538	35,628
無形固定資産	28,287	30,723
投資その他の資産		
長期貸付金	692	1,098
繰延税金資産	195,640	196,024
長期預金	300,000	300,000
その他	49,691	49,970
投資その他の資産合計	546,024	547,094
固定資産合計	609,850	613,446
資産合計	2,871,485	2,683,693
負債の部		
流動負債		
買掛金	43,072	48,751
未払法人税等	6,196	6,219
賞与引当金	26,663	55,516
前受金	264,494	96,345
その他	75,715	42,051
流動負債合計	416,143	248,884
負債合計	416,143	248,884
純資産の部		
株主資本		
資本金	760,007	760,007
資本剰余金	890,558	890,558
利益剰余金	838,350	818,025
自己株式	32,676	32,676
株主資本合計	2,456,239	2,435,914
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	897	1,105
評価・換算差額等合計	897	1,105
純資産合計	2,455,342	2,434,809
負債純資産合計	2,871,485	2,683,693

(2) 四半期連結損益計算書
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	342,042	411,003
売上原価	111,693	102,028
売上総利益	230,349	308,974
販売費及び一般管理費		
役員報酬	10,845	12,420
給料及び手当	68,792	67,605
賞与引当金繰入額	13,516	13,511
研究開発費	93,027	86,793
その他	63,422	67,180
販売費及び一般管理費合計	249,603	247,510
営業利益又は営業損失()	19,254	61,464
営業外収益		
受取利息	3,219	3,614
助成金収入	26,649	1,112
その他	735	179
営業外収益合計	30,604	4,906
営業外費用		
為替差損	2,099	534
営業外費用合計	2,099	534
経常利益	9,250	65,836
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	554
特別損失合計	-	554
税金等調整前四半期純利益	9,250	65,281
法人税、住民税及び事業税	2,616	5,762
法人税等調整額	1,834	19,994
法人税等合計	4,450	25,756
四半期純利益	4,799	39,525

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,250	65,281
減価償却費	4,891	6,129
貸倒引当金の増減額(は減少)	700	-
賞与引当金の増減額(は減少)	54,280	28,852
受取利息	3,219	3,614
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	554
売上債権の増減額(は増加)	68,121	5,519
たな卸資産の増減額(は増加)	8,333	52
仕入債務の増減額(は減少)	13,606	5,679
前受金の増減額(は減少)	163,475	168,148
その他	9,144	30,058
小計	174,744	226,455
利息の受取額	6,993	6,183
法人税等の支払額	26,572	4,112
営業活動によるキャッシュ・フロー	155,165	228,526
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	1,248	721
無形固定資産の取得による支出	645	-
貸付金の回収による収入	860	873
定期預金の払戻による収入	-	500,000
その他	217	1,055
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,250	499,096
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	38,400	19,200
財務活動によるキャッシュ・フロー	38,400	19,200
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,980	208
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	118,495	708,630
現金及び現金同等物の期首残高	1,070,778	981,161
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,189,273	1,689,791

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

該当事項はありません。